

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【公開番号】特開2016-198606(P2016-198606A)

【公開日】平成28年12月1日 (2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-173153(P2016-173153)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月13日 (2016.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、  
該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、  
前記遊技が行われる遊技領域と、  
該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機で  
あって、  
前記枠体は、  
前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴っ  
て実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、  
前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共  
に透光性を有する周装飾部と、  
前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関  
連して発光可能な複数の分割発光手段と、  
前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると  
共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、  
前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色  
に制御可能とされ、  
前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の  
周発光部ごとに発光制御可能とされ、  
前記複数の分割発光手段は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の分割発光  
手段ごとに発光制御可能とされ、  
前記複数の分割発光手段は、少なくとも発光手段を所定個数備える第 1 分割発光手段と  
、備えられている前記発光手段の個数が前記第 1 分割発光手段とは異なる第 2 分割発光手  
段と、を含み、  
前記周装飾部の前記遊技者側への突出量が場所によって異なり、前記遊技窓部の側方の  
前記周装飾部よりも前記遊技窓部の上方の前記周装飾部の突出量の方が多い  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

この種の遊技機では、遊技領域の前面を閉鎖し開閉可能に支持された扉枠を備えており、扉枠に形成された遊技窓を介して遊技者側から遊技領域が視認できるようになっていると共に、遊技窓の前面外周にＬＥＤ等の発光手段によって発光装飾可能な装飾体が備えられている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、従来の遊技機では、発光装飾によって遊技者に与えられるインパクトが一過性のものとなり易く、遊技者によっては早期に見慣れてしまい、装飾体による発光装飾を楽しめなくなったり、他の遊技機へ関心が移り易くなってしまったりして、遊技者によっては遊技に対する興趣を低下させてしまう虞があった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、遊技者の興趣が低下するのを抑制することが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正６】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本願発明は、前記目的を達成するために、所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機であって、

前記枠体は、

前記遊技窓部の下方に配置され遊技球を貯留する遊技球貯留皿を備えた皿ユニットと、

前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、

前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有する周装飾部と、

前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関

連して発光可能な分割発光手段と、

前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、

前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色に制御可能とされ、

前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能とされ、

前記皿ユニットの前縁付近には前記皿ユニットを発光装飾する皿ユニット発光手段を設け、

さらに前記遊技球貯留皿と前記皿ユニットの前縁の間に内部に発光体を設けた操作部を備え、

それぞれ別の系統に分けられる少なくとも１つの前記周発光部と少なくとも１つの前記分割発光手段とを同一基板上に設けたことを特徴とする遊技機である。

また、本発明とは別の発明として以下の手段を例示する。

手段１：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体が左右方向へ延びた一端側から供給可能とされると共に供給された遊技媒体が転動可能とされ且つ左右両端よりも中央側が低く形成された第一ステージ、該第一ステージにおける前後方向の両端に夫々配置され遊技媒体が転落するのを防止する板壁状の端壁、及び前後の該端壁同士の間における前記第一ステージ上の所定位置に形成され遊技媒体の外径よりも若干大きい径で下方へ貫通した少なくとも一つの落下孔を有した第一ステージ部材と、

該第一ステージ部材の真下に配置され前記落下孔から落下した遊技媒体を受けると共に所定幅で左右方向へ延び遊技媒体が左右方向へ転動可能とされた第二ステージ、及び該第二ステージの所定位置に形成され前記遊技領域内へ遊技媒体を誘導放出する誘導部を有した第二ステージ部材と、

及び該第二ステージ部材の下側に配置されると共に前記遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体を受入可能とされ、遊技媒体の受入れにより所定の特典を付与する受入口とを具備する」ものであることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００７８】

このように、本発明によれば、遊技者の興趣が低下するのを抑制することが可能な遊技機を提供することができる。